

令和5年度大野市児童館運営委員会結果(概要)

1 こども支援課長あいさつ

こども支援課山崎課長があいさつ

2 委嘱状の交付

委員の交代に伴い新委員には委嘱状を机上交付

3 会長及び職務代理者の互選について

泉町2区区長の合田委員を会長に、学識経験者の福田委員を職務代理者に互選

4 議事

(1) 令和4年度事業報告について

令和4年度合同事業について

令和4年度放課後子ども教室との連携事業について

資料No.1により事務局から説明

(2) 児童センター利用状況について

資料No.2により事務局から説明

(3) 令和5年度事業計画について

資料No.3により事務局から説明

(4) 令和5年度学びと遊びと体験の広場について

資料No.4, No.5により事務局から説明

(5) 意見交換

【主な意見】

委員:放課後児童クラブの保護者負担金について、1日300円というのは長期休業期間中の土日ということか。自由来館についても保護者負担はあるのか。

事務局:長期休業中の平日及び土曜日については1日300円の保護者負担金を徴収している。平日の放課後児童クラブの保護者負担金は無料である。自由来館の場合は無料でお使いいただけた。

委員:児童センターの先生については、コロナ禍で子どもたちと自身の感染防止対策に非常に気を遣っていただき、ご苦労だったことかと思う。

委員：昨年度の児童館運営委員会時に村部に放課後児童クラブがないことを考慮して、学びと遊びと体験の広場を始めたという認識でよいか。

事務局：お見込みのとおり。ここ数年の懸案事項であった村部の長期休業中の子どもの居場所を設けることができた。

委員：場所はエキサイト広場と、住んでいる地区からは遠いところもあるが、手厚くしてくれてよいと思った。村部の方にとってはとてもありがたいと思う。昼食はお弁当を持参するのか。

事務局：放課後児童クラブと同じく、弁当持参をお願いしている。

委員：なぜ村部には児童センターが設置されていないのか。

事務局：市街地には児童センターが設置されている。村部は市街地と比べて、二世帯・三世帯同居のご家庭が多く、家に帰ると祖父母がお子さんを見てくれるため村部には設置できていなかったと思われる。村部の放課後の居場所ということで、放課後子ども教室という形で居場所を確保したという経緯がある。

委員：村部に児童センターの設置は考えていないのか。

事務局：国は新・放課後子ども総合プランにおいて、小学校の敷地内で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施することを掲げている。現在の施設もゆくゆくは老朽化していくため、国の方針に沿って、学校で預かることを含めて考えていく。

委員：児童館運営委員会で村部の子どもの居場所について、改善をお願いしてきた。自身も仕事の関係で学びと遊びと体験の広場を見学してきたが、現場の指示系統を整理する必要があると思う。どなたかが指揮をとって、安全管理員を指導するべきではないか。長期休業期間は職員が入れ替わり立ち替わりするため、引き継ぎ体制の強化やノウハウの蓄積方法も含めて、次年度に向けて検討してほしい。

事務局：安全管理員は謝礼を支払って来ていただいているため、指導という形は難しい点がある。そのため、放課後児童クラブの職員を必ず配置して実施している。次回の課題として受け止める。

委員：学びと遊びと体験の広場はとてもよい取り組みだと思う。立ち上げるまでの話し合いや、スタッフ同士の話し合いはどのように進めてきたのか。

事務局：長期休業中の村部の子どもの居場所づくりは以前からの課題であり、

事務局：こども支援課が中心となり行っている。放課後子ども教室の拡充であることから、生涯学習・文化財保護課と連携した。大野市子ども・子育て会議での、「子どもの居所を作るだけでなく、様々な体験をさせてほしい」との意見を踏まえて、色々なカリキュラムを組み、昨年度から何度も打ち合わせを行ってきた。この事業を行うにあたっての懸案事項は人員の確保であった。安全管理員さんだけでは人員が十分に確保されないため、学生の有償ボランティアを募った。学生さんについては、コロナ禍で保育実習の機会がなかったということで、子どもと触れ合う機会にもなり、ボランティアに参加してくれることで、保育現場を目指す学生さんが増えるとよいと考える。

委員：今回の取り組みや名前も素敵だと思う。細かいことも相談しながらやってきたのが分かった。事業を進めていくなかで、子どもたちが楽しいと感じたりするのも、関わる大人の連携があってこそなので、考察して課題を検討してほしい。

委員：児童館運営委員会には村部の区長さんはいない。村部の保護者たちはどう思っているのか聞いた方がいいのではないか。この場では成果を教えたただけるだけで十分かと思う。

事務局：ここ最近の児童館運営委員会で課題として挙がっていた事項であったため、お答えとしてご説明させていただいた。

委員：事業報告や事業計画を聞いて、児童センターの先生方が色々考えてくださっているのが分かった。民生委員として担当地区の児童センターに訪問することがあるが、子どもたちは自然に挨拶やお礼を身につけている。生きていく上で挨拶やお礼ができることはよいと感じた。児童センターの行事や普段の生活で、挨拶やお礼が身につくようになっていて、子どもたちも元気でありがたい。

委員：民生委員でお手伝いできることがあれば教えていただきたい。

事務局：北部児童センターでは、コロナ前はお楽しみ会のコーナーを1つをお手伝いしていただいていた。コロナ禍になってからは、感染予防として、お互いに行事を控えていたが、その代わりに子どもたちのために絵本を買っていただいていた。今年度からはお楽しみ会のコーナーも増やすため、その時にお手伝いいただけるとありがたい。

委員：各児童センターの報告・計画について、各センターの想いを持って発表して

委員: いただいた。伝統的な行事も大切にしながら、特色を活かして子どもを喜ばせる仕掛けも色々あり、一生懸命やっているのが伝わってきてありがたい。学びと遊びと体験の広場については、課題はあると思うが、方向性を煮詰めて、よりよいものを次の年にできるとよい。今日の委員会で各委員のみなさんからいただいた意見を参考に次に活かしてほしい。

5 閉会

6 その他

参加負担金を伴う収支確認について各区長が確認